

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	施設の理念を共有するため、毎朝の朝礼で唱和を行っている。その理念が日々のケアに反映・実践できているかは毎月の会議やカンファレンスで振り返っている。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	毎年恒例で地域の方を招いての納涼祭や運動会、文化祭などの地域行事に出向いていたが、コロナ禍の影響で全て中止になってしまった。現状、電話やお便り中心の交流となっている。		
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている	地域の老人会の健康教室の講師を行ったりしていたが、コロナ禍の影響で中止となっている。地域清掃への参加は月に2回のペースで継続している。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	コロナ禍で書類開催中心の運営推進会議を行っている。地域の方の貴重な意見は親身に受け止め、書類のみでなく電話での意見交換も行いサービス向上に努めている。今後はBCPをテーマに連携を図っていく。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	毎年の介護相談員の受入れはコロナ禍の影響で中止となっているが機会があれば受け入れを行う方向である。又、事故報告書は速やかに提出しており、類似した事例が無いか、再発防止のアドバイスを頂くよう取り組んでいる。		
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	個別のチェックシートを活用しながら、身体拘束の勉強会では、身体拘束が起こす弊害について重点を置き行っている。また、身体拘束廃止委員会は最低3ヶ月に1回開催し、不適切ケアの見直しや各スタッフのケアを見直す機会を設けている。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待防止委員会を設立し、6か月に1回開催している。認知症に対する理解不足が原因で虐待に繋がらない様、勉強会を繰り返し行っている。日々のスタッフの口調や言葉遣いにも注意を払っている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	権利擁護・成年後見制度に関して当施設での実例はないが、スキルアップ研修や民生委員の方から話を聞いたりして制度の理解に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得  契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	専門用語は使わずに、解り易い言葉で説明している。施設生活に対する意向の確認を始め、病状の変化や転倒等事故のリスク等も事前にきちんと説明し、施設生活に対する不安の軽減に努めている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映  利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	コロナ禍の面会制限にて意見箱は活用できていないが、毎月のお便りや現状報告の電話で意見や希望などを確認している。年に1回家族会を開催して意見交換を行いケアの質の向上に繋げている。		
11	7	○運営に関する職員意見の反映  代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	休暇数や労働環境に対して職員が意見を言い易い雰囲気作りと関係性の構築に努めている。個別の面談以外にも朝礼時や毎月の会議の時、業務の合間に意見や提案を聞く様になっている。		
12		○就業環境の整備  代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員の努力や実績を把握する様に努め、環境整備に努めている。日々の業務のみならず、見えない所での働き・努力の姿勢にも目を向けている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>毎月の勉強会、法人内でのスキルアップ研修には夜勤者以外全員が参加している。外部研修へは勤務の都合上、全職員は参加できていないが、可能な限り参加を行っている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>グループホーム連絡協議会に加入し、他のグループホーム管理者や他事業者と意見交換や相談を行い施設のサービス向上へ繋がるよう努めている。オンラインの研修会への参加も積極的に行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>サービス開始前には必ず本人・家族と面談を行っている。面談の時間も一人一人調整し、ゆっくり話を聞いている。家族の要望だけが強くない様、本人の要望とすり合わせを行い、不安の軽減に努めている。</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>入所に至るまでの経緯、ご家族様の介護の苦勞など、傾聴と共感に重点を置いている。ご家族様の立場で物事を考え、施設での生活が具体的にイメージできる説明を行っている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>面談で得た情報を下に、必要な支援の優先順位を考え、サービス利用前に調整を行っている。グループホームでの対応が困難と想定される方や他のサービス利用が必要な場合は他機関に相談して対応している。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>家庭的な雰囲気の中で、スタッフは家族に近い立場で接する様に努めている。家事活動では裁縫・調理・味見に協力して頂き職員が学べる関係づくりを行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会時や家族会で家族の思いを確認し、チームケアの中に家族の役割を確立して、外出支援などを中心に、共に支援していく方向性で働きかけている。家族の力の重要性についても話をしている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	家族へ同意を行った上で、昔の知人や近所の方の面会を可能な限りして頂ける様支援している。コロナ禍ではオンライン面会を実施した。入所前から通っていた病院へ定期受診する方もいる。		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者同士の相性を考え、食事の席工夫やレクリエーションのチーム分け等行っている。必要時は間に入り交流を支援し、共同生活における孤立化を防いでいる。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	契約終了時は必要に応じて適切な医療や福祉機関を紹介している。また、終了後の本人や家族の様子を時にふれ伺う様にしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	スタッフは日々、本人の思いや希望をゆっくり傾聴するよう努力している。入居者に担当スタッフがあり、得た情報は全員が連絡ノートやミーティングで共有している。意向の把握が困難な方へはケアの反応、生活歴、家族の話を踏まえている。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	プライバシーに配慮しながら、本人や家族から聞き取りを行いこれまでの経過等の把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	生活リズムや残存機能等においては本人の意向を考慮しながら、専門職として出来る事、出来ない事を見極め対応している。疾病については病院と連携を取り状態把握に努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	担当スタッフを始め、スタッフが得た情報や気づきをカンファレンスで確認している。本人の要望や家族の意向を踏まえたケアの提供を考えプランを作成している。また、専門職として必要なケアが何かを話し合い提供している。主治医、家族の意見や要望も取り入れている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>情報共有を目的に、記録は本人の言動を取り入れ、普段と違うことが起こった場合は詳細に書くように努めている。夜間帯は特に注意して時間を追いながら記載している。ケアプランに沿った記録を心掛けている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>介護保険の更新等専門的な諸手続きや日用品の買い物、福祉用具の手配等必要な時は速やかに代行している。心身に異常が有った時は主治医へ報告し必要に応じ専門医への受診の予約や付添いをおこなっている。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>運営推進会議への参加を依頼し、安全な生活が確保出来る様に消防や警察等と連携している。また町内会の方々や民生委員の方を含め協力を頂いている。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>入居時に主治医との面接を行い、健康管理や訪問診療、必要に応じた定期検査について説明をしており、本人・家族は安心されている。疾病内容により専門医の紹介もしている。入所前から通院していた歯科や皮膚科へ定期受診する方もいる。</p>		



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	医療連携機関の外来看護師と密に連絡を取り医療的な相談や情報や気づきの共有に努めている。又、医療連携ファイルを活用し、医療面でのアドバイスをケアに反映している。訪問診療で賄えない検査は通院で対応している。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	入院先への情報提供は書面のみならず、必要時は職員が付添いし、情報提供おこなっている。定期的な面会と退院前訪問を行い、入院時の情報を確認しながら、退院後も安心して施設での生活が出来る様、状態の報告を行い指示を仰ぐ様にしている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入所時に家族へ重度化した場合の方針について十分に説明し理解して頂く様にしている。心身の状況は常日頃から伝える様にし、重度化した場合の対応も合わせて説明している。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	経験の浅いスタッフ含め全スタッフがいつでも見られる様にマニュアルを作成している。また、勉強会で定期的に訓練を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	消防署指導のもとに火災・地震・風水害などの災害想定避難訓練を年3回以上行っている。地域の研修会にも参加し、専門家の意見を取り入れている。今年度よりBCPの作成に着手し、大規模災害に対しての取り組みを強化している。県の派遣チー		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	会議、勉強会などで声かけや対応などプライバシーに関してや人格の尊重にに対して取り組んでいる。トレノ声かけ等利用者の前にてでてしまうことがある。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日頃からどうしたいか等の希望を自己決定できるように取り組んでいる。食事のメニューも希望に合わせて作る事も取り組んでいる。		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	入浴の曜日などは決まっている。順番などであるだけ希望に添えるように取り組んでいる。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	衣服を選んでもらったりしている。選べない方には職員が選び支援している。身だしなみについては洗面台にくしを用意したりし清潔感に気を付けて支援している。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	出来る事を役割にして取り組んでいる。お米研ぎ、野菜の皮むき等をいい所にしてもらいメニューなども一緒に考えることに取り組んでいる。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一 日を通じて確保できるよう、一人ひとり の状態や力、習慣に応じた支援をしてい る	毎食の食事量、水分量のチェックに より食べる量、栄養が摂れるよう に取り組んでいる。また一人一人の食 べる形態についても工夫して提供し ている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないよう、 毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の 力に応じた口腔ケアをしている	口腔ケアについては磨き残しなどの ケアに取り組んでいる。また異常や 問題がある時にはかかりつけの歯科 医に往診なども取り組んで指導を 貰っている		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、 一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣 を活かして、トイレでの排泄や排泄の自 立に向けた支援を行っている	その方に合わせ定時でのトイレの誘 導や介助にて失敗やオムツ使用を減 らすことに取り組んでいる。本人が 気持ち良い排泄ができるようにオム ツの方も介助にてトイレへ座り排泄 するなど一人一人支援している		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲 食物の工夫や運動への働きかけ等、個々 に応じた予防に取り組んでいる	食事はヨーグルトを2日に1回提供し たり野菜を食事に取り入れるなどの 工夫をしている。またチェック表に て排便状況把握し運動やかかりつけ 医の指示のもと薬の服薬など行っ ている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	曜日、時間帯などは職員の人員の都合もあり日中しかできない。希望があれば柔軟に対応していきたい。入浴時音楽をかけるなどの支援、個々に応じた洗身などの介助にも取り組んでいる。		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	生活パターンに合わせて休んでもらっている。日中の活動量や様子など見ながら生活のリズムが取れるように取り組んでいる。温度、湿度、光等の調整にも取り組んでいる。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	かかりつけ医、専属の看護師の指導、お薬についての理解に努めている。新しく服薬する薬などある場合は様子観察やバイタルのチェックを行い、かかりつけ医との連携に努めている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	外出が現在出来ていないので残念であるが室内でのレクリエーションや個々の好きな事など取り組んでいる。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	新型コロナ流行から外出は出来ない。本人の行きたいところなどの希望を聞き取り、楽しく外出についての話に取り組み、本人の希望について取り組んでいる。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>預り金という形で使いたいときに使ってもらっている。希望がある方については本人に管理してもらっている</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>希望の方には手紙の準備や電話などやりとりしてもらっている。電話はほとんどの方が受けるだけしかできない為定期的に電話してもらおう等取り組んでいる方もいる。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>リビングや玄関は季節感が感じられるように利用者と作成したもの等飾って季節を感じるように取り組んでいる。また共用の空間も生活感、清潔感が保たれるようにしている。また室温、湿度など加湿器、空気清浄機など使用している。</p>		
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>リビングソファにて過ごしたり共用空間内で思い思いに過ごされている。お手伝い等役割作りなどにも取り組み居場所作りをしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居室内は使い慣れたもの等持って来てもらい本人の居心地の良空間づくりにも取り組んでいる。</p>		
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>分かりやすい表示を付けたりし自立した生活が送れるように取り組んでいる。</p>		

## V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
		○	4 ほとんどいない



61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らしている。 (参考項目：28)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
		○	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
		○	4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は，生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
		○	2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て，利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て，利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない